

# 学校法人 野上学園の歩み

野上理事長(29歳) マック

1985年 野上理事長は前職で化学メーカーに勤務。  
幼少期から動物が好きな気持ちを持ち続けていたこと、  
ミニチュアダックスフント「マック」との飼育をきっかけに、  
当時 29歳 転勤先の香川県高松市にペットショップを  
開業。のちに動物を飼育するにあたり、動物看護の  
知識やトリミング技術の必要性を感じ、  
「まりりんグルーミング塾」を展開。



1995年 香川愛犬猫美容看護学院を開校。  
2001年 香川愛犬猫美容看護学院(徳島校)を徳島市西大工町に開校。  
2002年 「ブレーメン愛犬専門学校」と校名変更。  
2006年 新築校舎完成！(徳島市佐古一番町)



2007年 学校法人 野上学園としての認可を取得。  
「ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校」発足。  
(ブレーメン動物専門学校へ校名変更 申請中)  
翌年には二号棟が完成！



2012年 動物業界に真のプロを数多く輩出することを目的とし、野上理事長の故郷である神戸に専門学校を開校。  
兵庫県からの認可を得て「神戸ブレーメン動物専門学校」を開校。  
神戸校一期生は3名。二期生は37名と学生募集は順調に推移しました。



2017年 ブレーメンの流れを汲む人材を、関東から輩出する拠点となる東京エリアに学校を展開。東京都から認可を得て、「東京ブレーメン動物専門学校」開校。

2017年 アメリカ カリフォルニア州のモアパークカレッジとの正式提携が実現。  
履修した科目は相互に卒業単位として見なされることになりました。



2019年 グループ校の校名を「ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校」から「ブレーメン動物専門学校」に変更。

2020年 大阪府へ「大阪ブレーメン動物専門学校」の認可を申請。  
～ブレーメンの歴史は30年以上に遡り、これからも動物と共に歩み続けていきます～

# 学校法人 野上学園の歩み

## ～ 学校犬編 ～

ブレーメンを語る上で忘れてならないのは、学生と一緒に成長してきた学校犬の存在です。

ブレーメンが初めて学校犬として迎え入れたのはアメリカンチャンピオンの“ウィルバー”です。当時あまり見ることができない良血統のウィルバーから、学生たちは多くのことを学ばせてもらいました。



次に、ブレーメンを大きく飛躍させてくれたオーストラリアンチャンピオンの血統の“ビスキー”とその1年後にやってきた“ポピン”です。この二頭は13年もの間、ある時はドッグショーやトリミング試験に向けての勉強で、ある時はトレーニング犬としてたくさんの学生と共に学び、卒業生を送り出しました。スタンダードプードルの知能は3才児レベルだと言われますが、学生にとっては親友であり、時には学生のお弁当をロッカーから取り出して勝手に食べたり(笑)学生と一緒に成長しました。

ポピン ビスキー



ビスキーが13才で亡くなった時は、大勢の卒業生が花束を持って駆けつけてくれ、涙、涙のお葬式となり、こんなにたくさんの方が参列するペットのお葬式は初めてだと葬儀業者様も感動されておりました。

ビスキー



しっかり者のビスキーを姉と慕い、いつも一緒だった1才年下のポピンは、後を追うように半年後に息を引き取りました。

また、ビスキーの血をひくラポピーが徳島校で学校犬として活動していましたが、2019年に息を引き取りました。

神戸校ではチワワのちくわが元気に活躍中です。

ラポピー ちくわ



ブレーメンの使命である、「動物から生きる知恵を学ぶ」はこの学校犬たちにより、教えられた事が多いです。

学校犬たちのおかげで今のブレーメンが存在すると言っても過言ではありません。